

第8回 勉強会

<日時>

2009.6.20 (土) 14:00-17:30

<場所>

京都大学防災研究所地震予知研究センター
阿武山観測所 (大阪府高槻市奈佐原944)
アクセス

<概要>

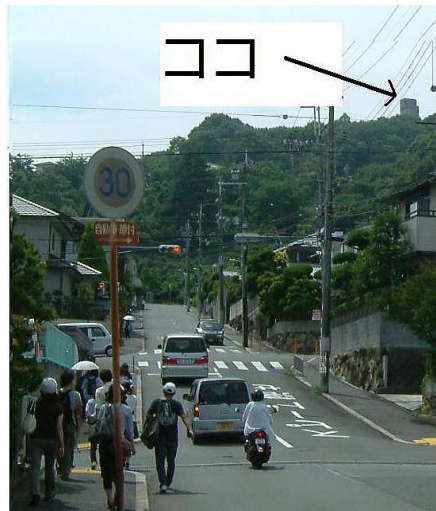
阿武山観測所は1930年の設立で、長年第一線の研究機関として活躍しました。
現在は貴重な地震計などを展示する博物館であるとともに、
趣のある近代建築としても注目されています。
今回の勉強会は、この貴重な施設を見学するとともに、
この観測所で勤務されている飯尾能久教授から、地震学のお話をうかがいました。

(参加者 約40人)

※阿武山観測所の紹介記事が
「京大広報」2009.1 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/issue/kouhou/documents/641.pdf>
に掲載されています。

<報告>

阿武山観測所へは車でも行けますが、
今回は最寄りのバス停から徒歩で挑戦！
しかし……



「ここからタクシーで行くか？」 (50代の某氏)

いいや、防災を志す者なら、弱音は吐けぬ。

しかし……

本当にけもの道だった。

「ここから かごで行こか？」



ようやく到着！

「先にビアパーティにしようか？」（夜の研究部長）

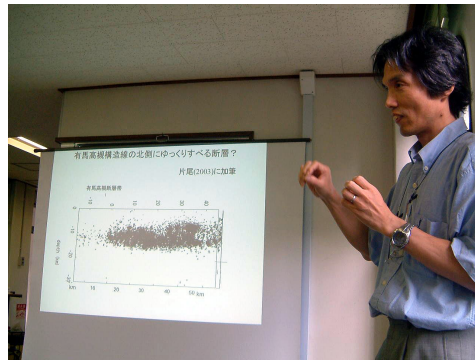


いいえ、お勉強が先です。

貴重な展示品の数々……

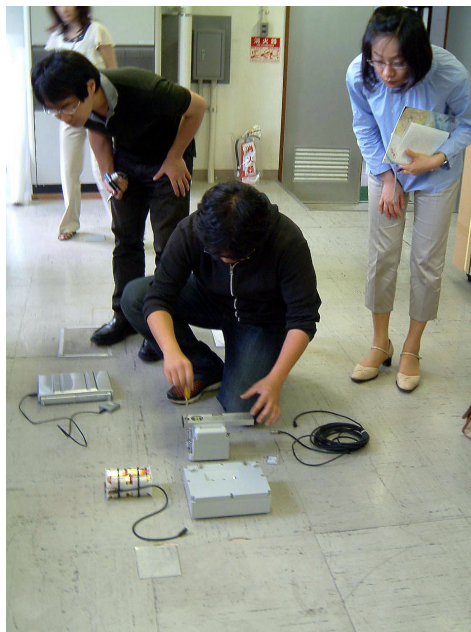


続いて、飯尾先生のお話。
日本の地震学の歴史、
小型で低コストの地震計を高密度の張り巡らせる「満点計画」などについて
熱く語っていただきました。



▶ [資料はこちらから](#)

地震計設置のデモも披露していただきました。



最後は屋上でビアパーティ！

さっそく阿武山観測所での防災合宿計画も検討されました。



<懇親会>

高槻駅前にて開催。

飯尾先生には、なまずの会世話人に加わっていただくことも
快く（強引に）決定。

引き続き二次会も（詳細不明。飯尾先生がはじけられた、との噂も）

